

平成 30 年度第 1 回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 平成 30 年 9 月 6 日（木）午後 4 時～午後 5 時 10 分
- ・ 場 所 埼玉会館 7 階 7 B 会議室
- ・ 出席委員 12 名

【被保険者代表委員】

市村委員、柿沼委員、金子委員、堀江委員

【保険医又は保険薬剤師代表委員】

廣澤委員、小杉委員、膳亀委員

【公益代表委員】

小久保委員、安藤委員、伊藤委員

【被用者保険等保険者代表委員】

柴田委員、中村委員

1 会長及び会長職務代表選出

- ・ 会長に伊藤委員、会長職務代行に横山委員を選出

2 議事（1）埼玉県国民健康保険事業特別会計予算の概要について

<事務局>

- ・ 参考資料 3 により、埼玉県国民健康保険運営協議会の概要について説明
- ・ 資料 1 により、埼玉県国民健康保険事業特別会計予算の概要について説明

【主な意見】

- ・ 財政の仕組みの図の中で社会保険診療報酬支払基金があるが、支払基金は単なる決済機関という位置付けである。ここは保険者間で調整をしているというのが仕組みとして一番重要なところであり、支払基金がくれているという理解をされかねないので、表記については正しい理解ができるようにすべきではないか。

3 議事（2）埼玉県国民健康保険運営方針の目標達成に向けた取組の今後の進め方について

<事務局>

- ・ 参考資料 1 及び参考資料 2 により、埼玉県国民健康保険運営方針について説明
- ・ 資料 2－1 により、埼玉県国民健康保険運営方針で設定した目標の進捗管理について説明
- ・ 資料 2－2 により、国民健康保険に係る赤字削減・解消計画について説明

【主な意見】

- ・ 県としても各市町村で全然違うという今の状況の中で、取組を少しピックアップしてしっかりと支えていくべきだと思う。

- 人口規模、自治体によってかなりバラツキがあるという話であるが、なぜ市町村ごとにこれほどまでにバラツキがあるのか。被保険者からすると不公平感になってしまう。
- 市町村の国保運営協議会に出て意見を聞いてみると、保険税水準の統一については将来の目指すべき課題として位置付けるとあるが、市町村ごとに意識がかなり違っているのではないか。
- 保険税の統一については、統一されたときにどうなるかと切迫感を持っている市町村とそうではない市町村とがある。統一していくというしっかりとしたメッセージを県から出していかないと、なかなか温度差が埋まらないのではないか。
- 医療費というのは通常 3 割負担であるが、税は保険者がバラバラの課税をしていて税率が違っている。なぜ統一できないのか疑問に思っている。
- 市町村が保険税率について、11 月頃に出る秋の試算を元に議会で決めたのち、本算定との差異が生じた分をどうするのか。本算定の方が試算より多くなった市町村が多くあり結構苦労されているのかなと思う。国と県とがあり難しいとは思いますが、もう少し精度を上げるなど、試算の仕方について検討いただきたい。